

「消防ひろば」で子供たちにPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之¹等陸佐）は、11月6日（日）、熱海市観光港芝生広場で行われた「消防ひろば」において募集広報活動を実施した。

このイベントは、熱海市が主催し市民に消防活動を広く知ってもらうために毎年寒くなるこの時期に行われており、防災関係機関として自衛隊も協力している。

当日は救急車の展示、消防車やはしご車の試乗体験、スモーク体験等様々な消防の催しが行われた中、自衛隊は第1戦車大隊（駒門駐屯地）から96式装輪装甲車の展示、静岡地本からミニ迷彩服の試着体験や隊員採用制度の説明を行った。

天候にも恵まれ多くの来場者で賑わう中、特にミニ迷彩服の試着体験は子供たちに大人気で、自衛隊車両を背景に写真撮影をする家族連れが多く見られ大盛況であった。

静岡地本は、今後も地域と連携してさまざまな防災イベントに積極的に参加し、防災意識の高揚に協力するとともに、自衛隊の活動について理解促進を図り、防災に関心のある志望者の獲得に努めていく。

西伊豆町で自衛隊をPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之¹等陸佐）は、11月13日（日）、西伊豆町黄金崎クリスタルパークで開催された「西伊豆町ふるさとまつり」で広報活動を実施した。

当日は、地元で生産された特産品、駿河湾で獲れた魚の干物販売や特設ステージでの太鼓演奏等が行われ、伊東所も自衛隊広報ブースを設置し多くの家族連れや観光客が来場し賑わった。

自衛隊広報ブースでは、自衛隊募集相談員の荒木國雄氏（西伊豆町）と堤榮助氏（同）、西伊豆町自衛隊協力会長の藤井文憲氏も支援に駆け付け、第1戦車大隊（駒門駐屯地）の96式装輪装甲車の展示、熊本地震に伴う第34普通科連隊（板妻駐屯地）の災害派遣活動パネルの展示及びミニ迷彩服の試着体験等を行った。

特に普通の車とは全く違う装甲車両の展示では、子供を連れた家族連れに大人気で、ミニ迷彩服を着て自衛隊車両とともに記念撮影を行っていた。

また、自衛隊の活動や国際情勢、採用制度に関する質問も多く聞かれ、広報官が丁寧に対応していた。

静岡地本は、今後も自衛隊と地域の連携を大切にしながら、自衛隊に対する理解や関心を高め、熱意ある若者の志願者獲得に努めていく。